

【主催 豊中市】

“うちにもできる”が見えてくる！ 脱炭素経営入門セミナー

委託事業者：株式会社エスプール

本日のプログラム

◇豊中市からのご挨拶◇

第一部 脱炭素経営入門セミナー

**第二部 地元企業から学ぶ取組事例
三和パッキング工業株式会社様**

第三部 全5回の脱炭素経営スクールについて

豊中市からのご挨拶

豊中市の脱炭素経営支援について

R6年度

脱炭素経営セミナーを実施

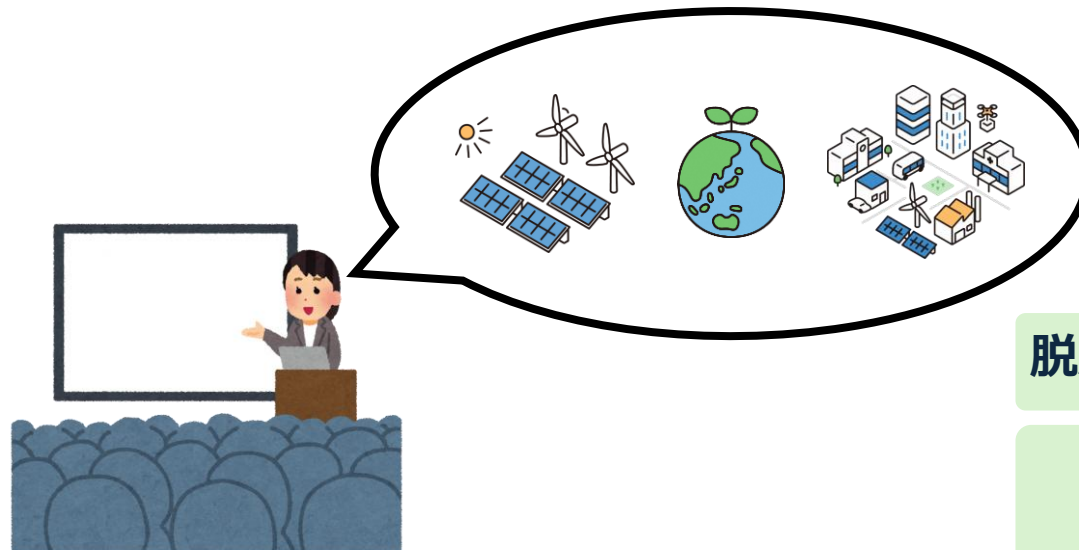


脱炭素経営には**取り組みたいが**
何をしたらよいかわからないという声が多かった



R7年度

脱炭素経営スクールを開講



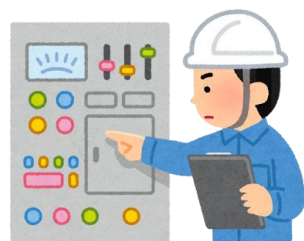
脱炭素を「知る」ためのセミナー

「測る」「減らす」について
スクール形式で伴走支援

皆さまが取り組まれていることを「メリット」に



省エネ



設備点検・修繕



電力の見直し

日々の事業活動の中で取り組まれている業務や改善など、脱炭素を意識せずとも取り組んでいるもの

脱炭素経営として取り組み

脱炭素経営を行うことによるメリット



コスト削減

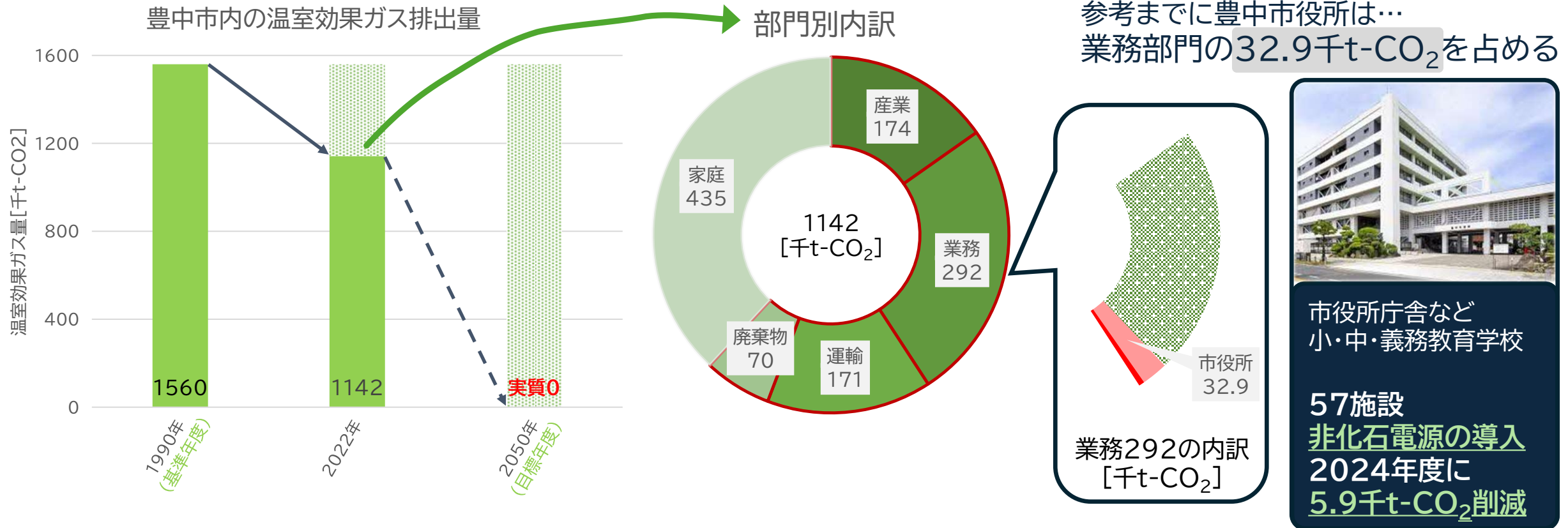


新たなビジネスチャンス



融資条件

地域脱炭素の現状



皆さんに少しずつご協力いただき、ともにゼロカーボンへ

皆さまにご協力いただきたいこと

本資料の無断転載・複製・改変等をご遠慮ください。
セミナー時点での情報を掲載しています。最新情報は随時確認ください。

いただいたご意見をもとに施策展開を検討させていただきます
ぜひ市に要望を出していただき活用してください



事業者も「気候変動対策の担い手」



ともに歩むパートナーとして支援

皆さんからいただいた意見を支援方法(施策)に反映させる方法を検討

各方面からも協力いただいているので、ぜひ相談してほしい

個別相談

金融

排出量

太陽光

第一部

脱炭素経営入門セミナー

～ダイエットに例えたやさしい脱炭素入門～

セミナー登壇者



株式会社エスプール
自治体環境みらいカンパニー
コンサルティング部 技術企画課

やまわき あいこ
山脇 愛子

今までの職務経歴では工場がある大手メーカーや電力会社勤務、太陽光発電システムの営業やポンプメーカーなどで培った知見を活かし、現在はエスプールにて、中小企業の脱炭素経営を支援するコンサルタントとして年間約50社の支援をしています。

現場目線を大切に、「難しいことをわかりやすく」伝えることをモットーに、実践的なご提案を行っています。

◆所有資格:環境省認定制度 脱炭素アドバイザーベーシック



会社紹介

本資料の無断転載・複製・改変等にご遠慮ください。
セミナー時点での情報を掲載しています。最新情報は随時確認ください。

会社名	株式会社エスプール (S-Pool, Inc.)
本社所在地	東京都千代田区外神田1-18-13 秋葉原ダイビル6階
資本金	3億7,220万円
設立	1999年12月1日
代表	代表取締役会長兼社長 浦上 壮平
上場	東証プライム (証券コード: 2471)
従業員数	連結: 1,193名 (2025年2月末現在)
拠点数	96か所 (2025年3月末時点)

ESG評価



認定



ミッション

アウトソーシングの力で企業変革を支援し、社会課題を解決する
▼
社会問題や付随する企業課題を、新たなビジネスで解決する**ソーシャルビジネス**を推進

親会社

[事業持株会社 & 事業戦略推進]

(株)エスプール



グループ会社

[人材派遣・アウトソーシングサービス]

(株)エスプールヒューマンソリューションズ



[障がい者雇用支援サービス]

(株)エスプールプラス



[ロジスティクスアウトソーシングサービス]

(株)エスプールロジスティクス



[セールスサポートサービス]

(株)エスプールセールスサポート



[採用支援サービス]

(株)エスプールリンク



[広域行政BPOサービス]

(株)エスプールグローバル



[事業継承支援サービス]

(株)エスプールブリッジ



[環境経営支援サービス]

エスプールブルードットグリーン(株)



blue.green

＼知って・減らして・オフセット／

企業の環境経営に関するお悩みをサポート

Service 1

企業の環境経営を支援

STEP
01

「知って」



自社のCO₂排出量を正確に把握

▶ CO₂排出量算定支援

STEP
02

「減らして」



企業活動を通じてCO₂排出量の削減

▶ 排出量削減コンサルティング

STEP
03

「オフセット」



削減出来ないCO₂をクレジットで相殺

▶ カーボンオフセット支援

Service 2

環境経営に関する情報開示を支援



自社の気候変動対策を投資家へ正しく情報開示

▶ 気候変動リスク分析・情報開示支援

日本国内で最大規模となる
年間300社（合計800社）に対して
脱炭素に向けた環境経営の支援を実施

セミナー対象者



脱炭素に関わる実務担当者の方。様々な経営課題に取り組むすべての方。

- 収益性の維持向上、コスト削減、人材確保などの経営課題に直面している。
- 脱炭素（カーボンニュートラル）について、基礎から学びたい。
- 必要性は認識しているが、何から始めたらよいか分からない。
- 取引先からの脱炭素要請に応えたい。他社との差別化を図りたい。
- 具体的な取り組みの実践に向けて、他社の取り組み事例を知りたい。

本セミナーの目的



参加事業者の皆さんに、
脱炭素経営の第一歩を踏み出していただくこと

実務担当の皆さんが「これだったら始められそう！」と踏み出し、自社の脱炭素の実践に繋げていただくことを期待！

今日お伝えしたいこと

脱炭素は特別なことではない！

経営の見直しそのもの！

脱炭素 = 企業の体質改善

脱炭素経営を「ダイエット」に例えて分かりやすくご説明！

用語解説

・脱炭素（カーボンニュートラル）とは

温室効果ガス排出量を実質ゼロにすること。つまり、人間が排出したCO₂などを含む温室効果ガス排出量と、植物等による温室効果ガス吸収量が、プラスマイナスゼロになる状態。2050年カーボンニュートラルの実現を目指し、世界で取組が進められている。

・GXとは

Green Transformation（グリーン・トランスフォーメーション）の略。産業革命以来の化石燃料中心の経済、社会、産業構造をクリーンエネルギー中心に移行させ、経済社会システム全体を変革させていくこと。脱炭素と同時に、我が国の経済成長、産業競争力の強化を目指すものとして、実現に向けた取組が加速的に進められている。

・サプライチェーンとは

製品やサービスが生まれてから、私たちの手に届くまでの**一連の流れや関わるすべての企業のつながり**のことを指します。たとえば、ある商品が私たちの元に届くまでには、原材料の調達・部品の製造・組み立てや加工・輸送・保管・店頭での販売...といったさまざまな工程があります。

それぞれの工程には異なる企業が関わっており、これらが“鎖（チェーン）”のようにつながって商品を作り上げています。この一連の企業のつながりをまとめて「サプライチェーン」と呼びます。

本セミナーのステップ

STEP 0

知る

...まさに本セミナーへの参加がSTEP 0 !

ステップ 1 ~ 4 はスクール内でご説明します !

STEP 1

測る

STEP 2

比べる

STEP 3

目標を
立てる

STEP 4

減らす

STEP 0 知る

情報収集を行う



「情報収集」とは、現在の情勢等を知り、脱炭素化に向けて**自社の事業や経営を見直し、自分ごと化すること**です。

カーボンニュートラルに向けた社会全体の潮流を理解し、自社の取り組むべき課題を早期に見出すことが重要です。

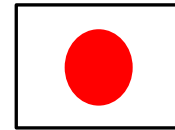
2050年のカーボンニュートラルに向けて、将来の経営はどのような姿になるのかを考える。そこで自社ができることは何か。どのような付加価値を提供できるのか。例えば、取引先の見直しといったサプライチェーンの再構築もありうるのか等を検討するための**情報収集**を行います。

Step 0 知る

脱炭素には「予算」も「コスト」もセット



世界で脱炭素に向けた競争が激化



2050年カーボンニュートラル宣言

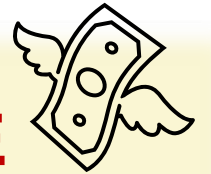
2050年に排出量ゼロにするには、
今から始める必要がある

20兆円の政府予算（GX移行債）

財源は「カーボンプライシング」

（＝CO₂排出に“値段”をつける）

将来：CO₂を出せば「コスト」発生
（政府の財源）



今：排出を減らす企業が「有利」になる



Step 0 知る

「脱炭素」が避けられない時代

- ✓ 製品・サービスは、**省エネ機能を備え**、エネルギーは、**再エネ使用が当たり前**へ。
- ✓ 政府として**GX分野に大きな支援**。
先行として取り組むことが有利、遅れは不利に。
- ✓ **炭素排出量の削減が新たな価値になる。**
- ✓ 政府としても中小企業をGXのプレイヤーと認識。**中小企業においても他人事ではない。**

早い段階で脱炭素経営に取り組めば、未来は明るい



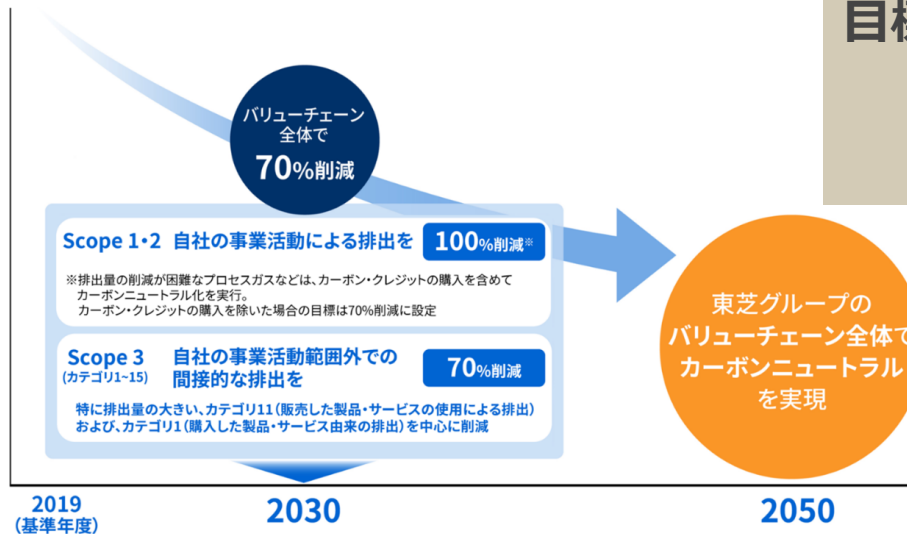
Step 0 知る

取引先として選択される条件

＜サプライチェーン取引の企業事例＞

東芝

目標：バリューチェーンを通じて2050年度までにカーボンニュートラルの達成
(2030年度自社の事業活動による排出を100%削減)
(2030年度間接的な排出を70%削減)



社会全体のカーボンニュートラルを達成するためには、バリューチェーン全体に視野を広げてGHG排出量の削減を考えていくことが重要

出典：東芝HP_Vision_バリューチェーン全体でカーボンニュートラルへ

Step 0 知る

取引先として選択される条件：自動車業界

＜サプライチェーン取引の企業事例＞

自動車メーカー

完成車メーカーの供給網での脱炭素の取り組み			
トヨタ	主要部品メーカーに21年のCO ₂ 排出量を前年比3%減らすよう要請	フォルクスワーゲン	一部のEVでサプライヤーにカーボンニュートラルを義務付け
ホンダ	主要部品メーカーに25年度からCO ₂ 排出量を19年度比年4%ずつ減らすよう要請		
日産	10社弱の主要部品メーカーとCO ₂ を減らす上での課題を共有する取り組みを開始	ダイムラー	39年までにサプライチェーンでのカーボンニュートラル達成を目指す

近い将来サプライヤー選定条件として地球温暖化への取り組みが求められる

脱炭素対策に取り組んでいる中小企業



『株式会社関電エネルギーソリューション調べ』

中小企業のうち — 脱炭素に関する取組みを開始した理由TOP5 —



『株式会社関電エネルギーソリューション調べ』

Step 0 知る

取引先・顧客からの要請

「脱炭素への対応」を求める声が増えています。

ケース
01 大手メーカーに納品している
中小企業A社

親会社の「脱炭素方針」
により、**CO₂排出量の提出**
を求められた。

ケース
02 地元企業と取引をする
部品加工業B社

「**ISOの取得**」や「**再エネ
導入実績**」の報告が条件に
加わる。

ケース
03 公共事業に参入したい
建設業C社

入札条件として「**環境配慮
の取組**」記載が**必須**に。
例：グリーン調達、環境配慮型施
工

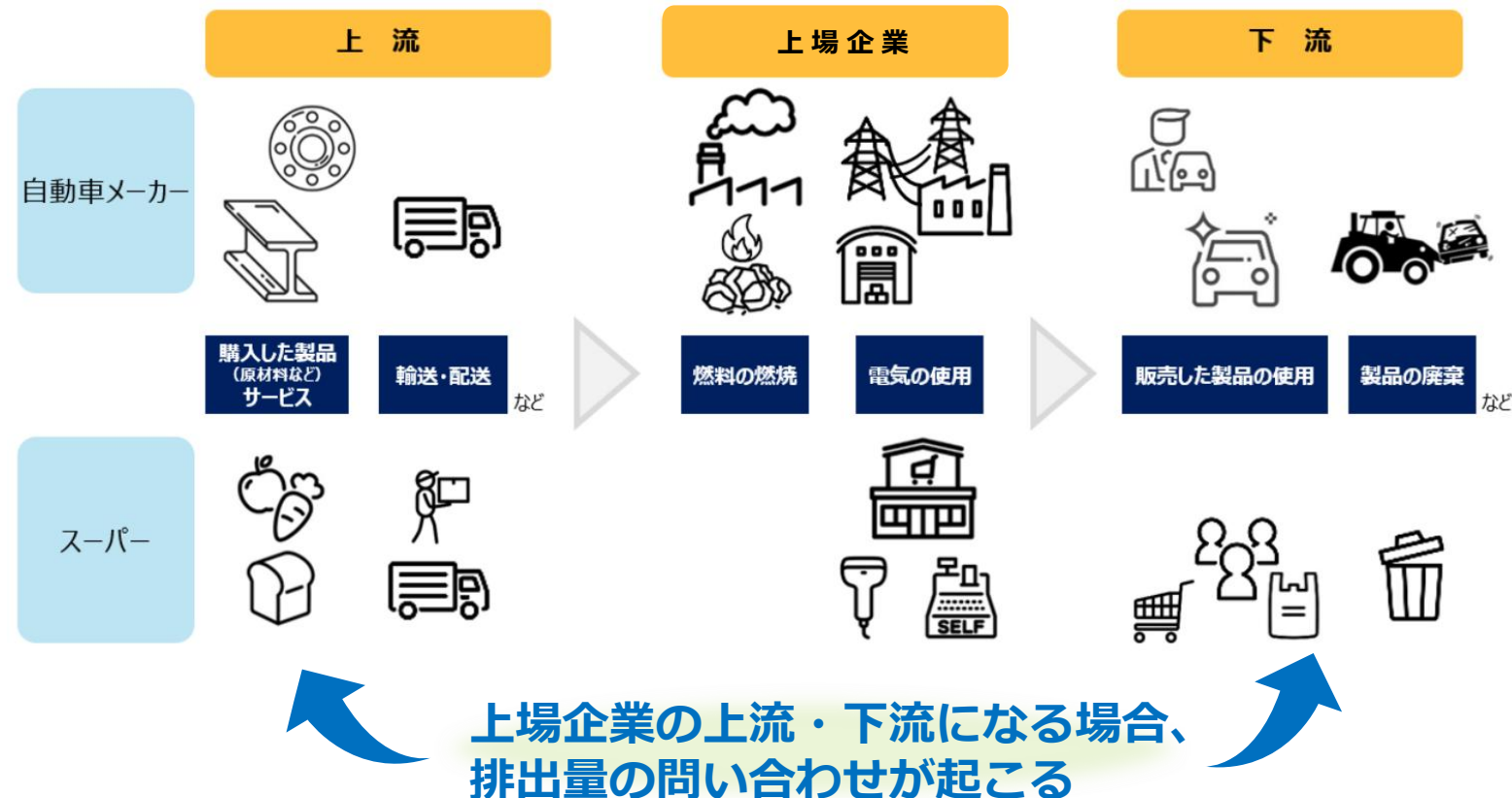
取引先からの要請は最も身近な脱炭素の入り口

- ✓ 脱炭素化への取り組みを実施しないと、**受注減、大手顧客流出のリスク**がある。
- ✓ 他方で、きちんと取り組めば**差別化、販路拡大、売上増加のチャンス**。
- ✓ 製品・サービスの品質だけではなく、脱炭素化への取り組みも**競争力の源泉**に。

Step 0 知る

なぜこのような要請があるのか？

特に上場企業は、**自社だけでなくサプライチェーン全体のCO₂排出量を開示、削減が求められている。**
そのため、取引先の企業に対し、CO₂排出量の開示と削減を求める動きが活発化している。



出典：資源エネルギー庁エネこれHP

Step 0 知る

消費者からのニーズ

企業だけでなく、一般の生活者も、環境に優しい商品を求めるようになってきています。

エシカル消費

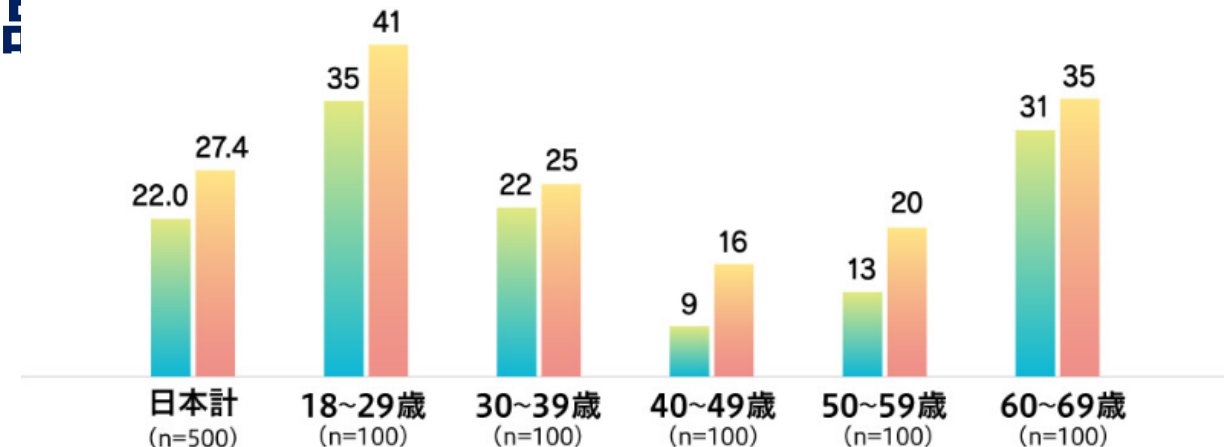


商品を購入する際に価格よりも環境を考慮

- 価格が高くて、トレーサビリティがわかる商品を選ぶ
- 気候変動の影響減のため、肉よりも野菜中心のメニューを選ぶ

(%)

人や社会、地域、環境に配慮された製品・サービスを選択する消費行動のこと。



*「常に」「大体」「時々」「めったにない」「まったくない」までの5段階で聴取、上記は「常に」+「大体」の合計

出典：株式会社電通、電通総研インターネット調査「サステナブル・ライフスタイル意識調査2021」

Step 0 知る

従業員・就活生のニーズ

エシカル就活

様々な社会課題解決に事業として取り組む企業を志望し、
環境・社会に悪影響を与えている企業を避ける就活スタイルのこと。



お金や名誉よりも、「社会の役に立っていること（やりがい）」が大事

地球温暖化をはじめとする社会課題を本業で解決している、又はこれらの課題を悪化させていないことが企業を選ぶ基準になりつつあります。

① 気候変動問題について学ぶことが当たり前

- ・気候変動問題をネットやテレビなどで見聞きするように

② 脱炭素化への対応をアピールする企業の増加

- ・企業は、IRや採用ページで脱炭素の取組を説明

③ 社会課題解決を「本業」にする企業の増加

- ・脱炭素に係る課題解決により収益を上げる企業が登場
- ・脱炭素に係る課題解決に取り組む中小企業やスタートアップへの人気が高まっています

Step 0 知る

脱炭素と金融の関係

ESG投資

Environment（環境）、Social（社会）、Governance（ガバナンス）の略。
財務情報だけでなく、これらの3つの非財務要素も評価して行う投資。気候変動対策の環境が中核となっており、**排出量削減の取組を行っている企業は投資家から高く評価されやすい。**

グリーンローン

脱炭素や**環境改善につながるプロジェクトを対象に資金を貸し出す融資**。資金の用途が「グリーン（環境目的）」であることが明示されている必要あり。
例：再生可能エネルギー設備の導入、ZEB改修、脱炭素化に資する製造設備の更新



THE AMAGASAKI SHINKIN BANK

取引先の脱炭素化に向けた取組状況と 金融機関の対応

2025年8月22日

尼崎信用金庫
サステイナブル推進部
谷口 雅信

1. 当金庫の概要

1. 当金庫の概要 (2025年3月31日現在)

本資料の無断転載・複製・改変等のご遠慮ください。
セミナー時点での情報を掲載しています。最新情報は随時確認ください。

創 業 : 1921年（大正10年）6月6日
本店所在地 : 兵庫県尼崎市開明町3-30
店 舗 数 : 88店舗（うち出張所2）
預 金 量 : 2兆7,634億円
融 資 量 : 1兆3,169億円
出 資 金 : 137億円
会 員 数 : 125,626人
常勤役職員数 : 1,399人



2. 当金庫の脱炭素支援

2. ①ESG要素を考慮した事業性評価

本資料の無断転載・複製・改変等のご遠慮ください。
セミナー時点での情報を掲載しています。最新情報は随時確認ください。

■ ESG要素を考慮した3種類の事業性評価シート

- **「選択式設問シート」**は、事業者のESG、SDGsに対する取組や関与の深度を簡便に把握し、事業者と課題意識を共有するためのシートである。アンケート形式であるため、幅広い業種かつ多数の事業者に対して実施することが可能。
- **「ESG要素を考慮したローカルベンチマーク」**は、通常のローカルベンチマークを活用した事業者の強みや課題を共有するための対話の際に、主要なESG項目に対する取組状況も併せて把握するためのシートである。
- **「ESG課題評価シート」**は、事業者のESG分野に関する取組をより詳細かつ具体的に把握・評価するためのシートである。ESG分野の項目が網羅的に設けられており、ESGの取組伴走支援に活用可能。

2. ①ESG要素を考慮した事業性評価

本資料の無断転載・複製・改変等のご遠慮ください。
セミナー時点での情報を掲載しています。最新情報は随時確認ください。

	選択式設問シート	ESG要素を考慮した ローカルベンチマーク	ESG課題評価シート
目的	✓ 企業のESGに関する関心度、課題意識、取組状況を簡便に把握する ✓ ESG目線の対話のきっかけづくり	✓ 既存のローカルベンチマークの対話の際に、主要なESG項目の取組状況も併せて簡便に把握する ✓ SDGs・ESGへの取組みの必要性認識	✓ 各企業のESG分野に関する取組を詳細かつ具体的に把握・評価する
記入内容	✓ ESG、SDGsの関心度（4段階） ✓ ESG分野12項目の取組状況（取組あり/検討中/取組予定なしの3段階）	✓ （既存のローカルベンチマーク項目に加え）ESGの主要4項目の取組状況	✓ ESG分野26項目に対する関心度・取組状況・課題
対象企業	✓ 全企業	✓ ローカルベンチマークを活用した対話実施先 ✓ 日々の渉外活動を通じて事業実態を把握したい企業	✓ ESGの取組に意欲的な企業

2. ②あましんサステナビリティ・リンク・ローン

あましんサステナビリティ・リンク・ローンの特徴

- あましんサステナビリティ・リンク・ローンはご融資を通じて脱炭素に先進的に取り組む企業を公表。
- 融資の取組み時の基準金利から、CO2の削減目標の達成状況に応じて金利優遇を行う商品。
- 国の目標やSBT目標などに準拠した”野心的な”目標を設定し、目標達成に向けた支援も実施していく。
- R&I（格付機関）からの外部認証を取得しており、第三者評価を取得した方法により、CO2を算定・削減に向けた伴走支援を実施。
- 『脱炭素に取り組む地域のリーディングカンパニー』としてPRすることで、融資を通じて企業価値向上をめざす商品。

News Letter


あましん信用金庫
2025年7月7日

各位
「あましんサステナビリティ・リンク・ローン」第1号案件の融資実行について

あましん信用金庫（本店 尼崎市開明町3-30 理事長 作田 健司）は、2025年6月27日、株式会社 フクユ（本社 伊丹市、代表取締役 松下 誠吾）に対して、「あましんサステナビリティ・リンク・ローン」（以下「あましんSL」）を実行しましたのでお知らせします。

あましんSLは、お客さまがCO2排出量の削減目標「サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（SPTs）」を設定し、その達成状況に応じてご融資金利を引き下げる融資商品です。目標達成に向けた助成付けを促し、地元企業の脱炭素経営を後押ししています。なお、SPTsについては株式会社格付投資情報センター（GIC）から第三者評価を受けております。

記

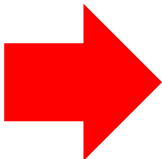
1. ご融資先企業の概要

企業名	株式会社フクユ
代表者	代表取締役 松下 誠吾
本社所在地	兵庫県伊丹市市民7丁目181番地
業種	運送業
事業内容	・伊丹・川西・宝塚の地区交通機関として、24時間365日受付・配車サービスを提供しているタクシー会社 ・社名の由来でもある福知山線からスタートしたことから、「人にやさしい」という基本理念を持ち、高齢者割引や障壁タクシー、コミュニティバス事業なども運行している ・高齢者、障がい者、妊婦、車いすやベビーカーでも利用しやすいユニバーサルサービスをめざすなど、サステナビリティ・ESG経営の推進にも注力している
ホームページ	https://fukuyu.jp/
CO2排出量	6,131.86 t-CO2（2024年度）
SPTs	2030年度までに13.5%のCO2削減をめざす
おもな取組事項	・CO2排出量を定期的に算定し、公表することで削減を図る ・所有する事業用タクシーをユニバーサルデザインタクシーへ随時切り替え ・エコドライブを推進し、車中の燃費の向上をめざす

本件に関するお問い合わせ先
あましん信用金庫 総合企画部広報グループ
〒660-0862 尼崎市開明町3-30
TEL 06-6412-5423
FAX 06-6412-5489
URL <https://www.amashin.co.jp>

（第1号案件 ニュースリリース）

- 当金庫ではESG要素を考慮した事業性評価を行うことで、各社における強みや課題について対話を行っている。
- 企業の実践を強化するために、企業におけるESG（脱炭素）への支援も実施。
- 脱炭素の分野では国の目標やSBT目標などに準拠した” 野心的な” 目標を設定し、目標達成に向けた支援も実施していく。
- そのほか、あましんサステナビリティ・リンク・ローンなど、企業の実践に着目し、先進的な企業としてPRする支援も実施。

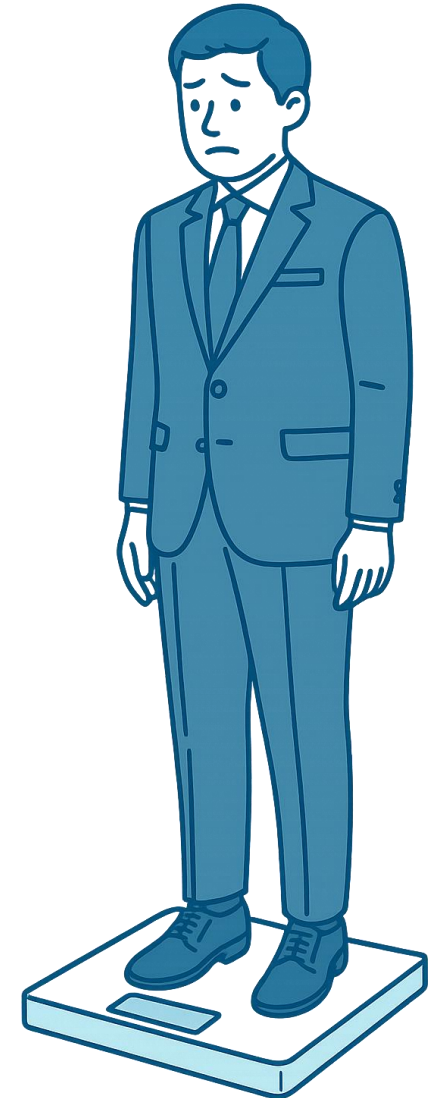
 あましんは地域企業のみならず、脱炭素への取り組みを支援するとともに、各社の強みとして適正に評価し、PRする支援を実施してまいります。

STEP 1 測る

体重を測る = 排出量を知る

ダイエットを始めるとき、まずは自分の体重を測ることから始めます。
「たぶん3kgくらい痩せたいな」と思っている、実際に測って見たら
「5kgは落とさなきゃいけないかも...」と気づくことがあります。

脱炭素も同じで、まずは**自社のCO₂排出量を知ることが出発点**です。
感覚ではなく、実際の数値を見ることで、正しいスタートラインに立てます。



Step 1 測る

排出量の測り方

- ✓ CO₂排出量の簡易計測はシンプル。掛け算と足し算で算出することができます。

活動量



排出係数
(排出原単位)

活動量とは

使用した原材料の量、エネルギーの利用量、輸送量、排気量など

排出係数とは

エネルギー種類ごとに規定された単位当たりのCO₂排出量

※電気の排出係数（R6年度実績用） https://policies.env.go.jp/earth/ghg-santeikohyo/files/calc/r07_denki_coefficient_rev4.pdf

※ガス事業者別排出係数（R6年度実績用） https://policies.env.go.jp/earth/ghg-santeikohyo/files/calc/r07_gas_coefficient.pdf

※燃料の排出係数（23ページ） https://policies.env.go.jp/earth/ghg-santeikohyo/files/calc/itiran_2023_rev4.pdf

Step 1 測る

みんなの算定

住民・事業者は完全無料で使える「見える化」ツール



特徴①

利用は**完全無料**

PCで利用できるクラウドシステム
ユーザー数・拠点数は無制限
全社で利用可能

特徴②

排出量算定が**簡単に**

事業所で使用したエネルギーを
入力欄に入力するだけで
Scope1・2に対応した排出量を自動算定

特徴③

脱炭素の**第一歩**をサポート

エネルギーコストの削減や情報開示
支援制度・補助金の活用に向けて
まずは排出量の見える化から取り組める



クリックいただき、
下部の「アカウント
を作成する」を選択

STEP 2 比べる

└ 標準体重や平均との比較 = 他社・業界平均との比較

体重に「太っている」「痩せている」という感覚を持つのは、何かと比べているからです。
標準体重、モデル体重、理想体型、周囲の人の体型などとの比較によって、自分の状態を判断します。

排出量も同様に、**同業種の平均値や省エネ先進企業と比較**することで、自社のポジションが見えてきます。

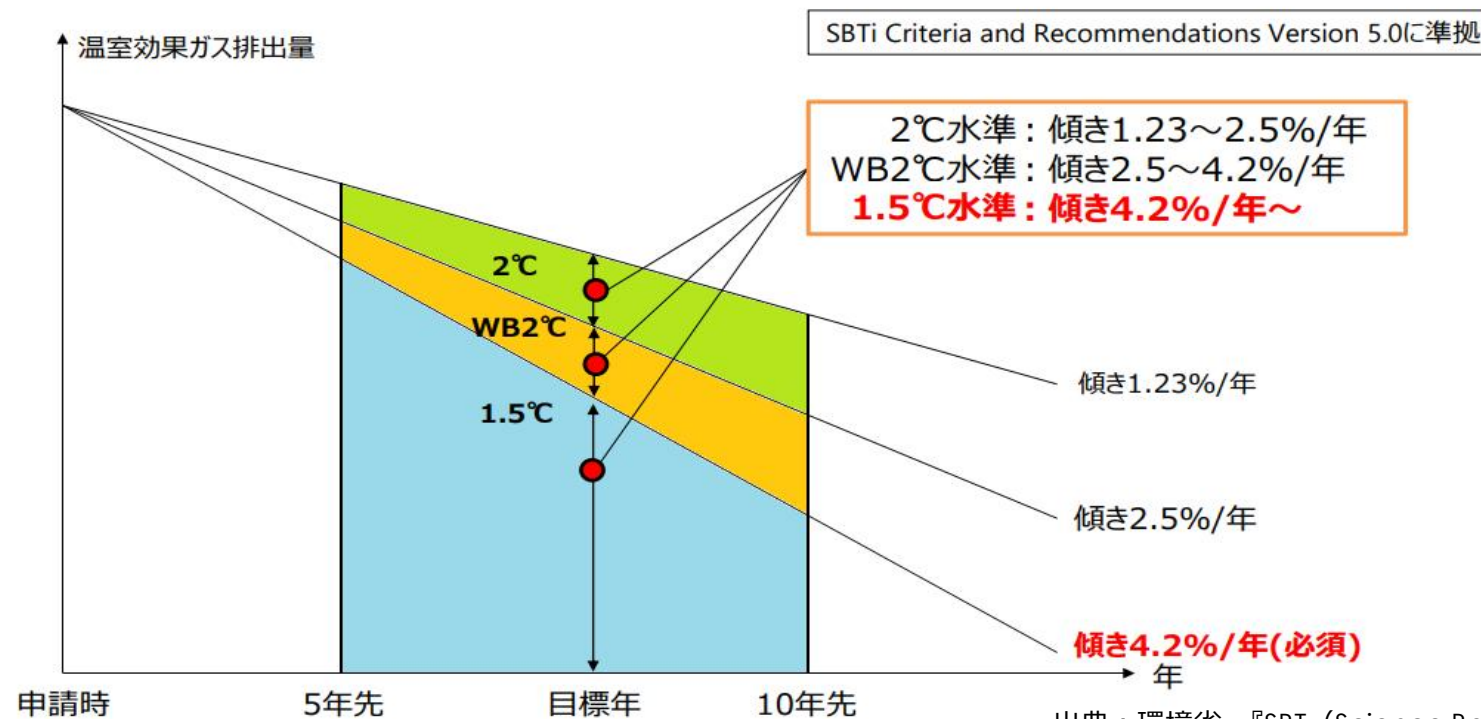


Step 2 比べる

比較をする基準は？

短期目標（Near-term SBT）

4.2%/年以上の温室効果ガス削減を目安として、申請時から5年～10年先の目標を設定する



出典：環境省, 『SBT（Science Based Targets）について, p.5

STEP 3 目標を持つ

└どのくらい痩せたいか決める = 削減目標を設定する

ダイエットには目指す体重があります。

無理のない「健康体重」にするか、努力して「標準体重」を目指すか、理想を高く「モデル体重」を目指すか・・・

脱炭素も同じで、例えば、

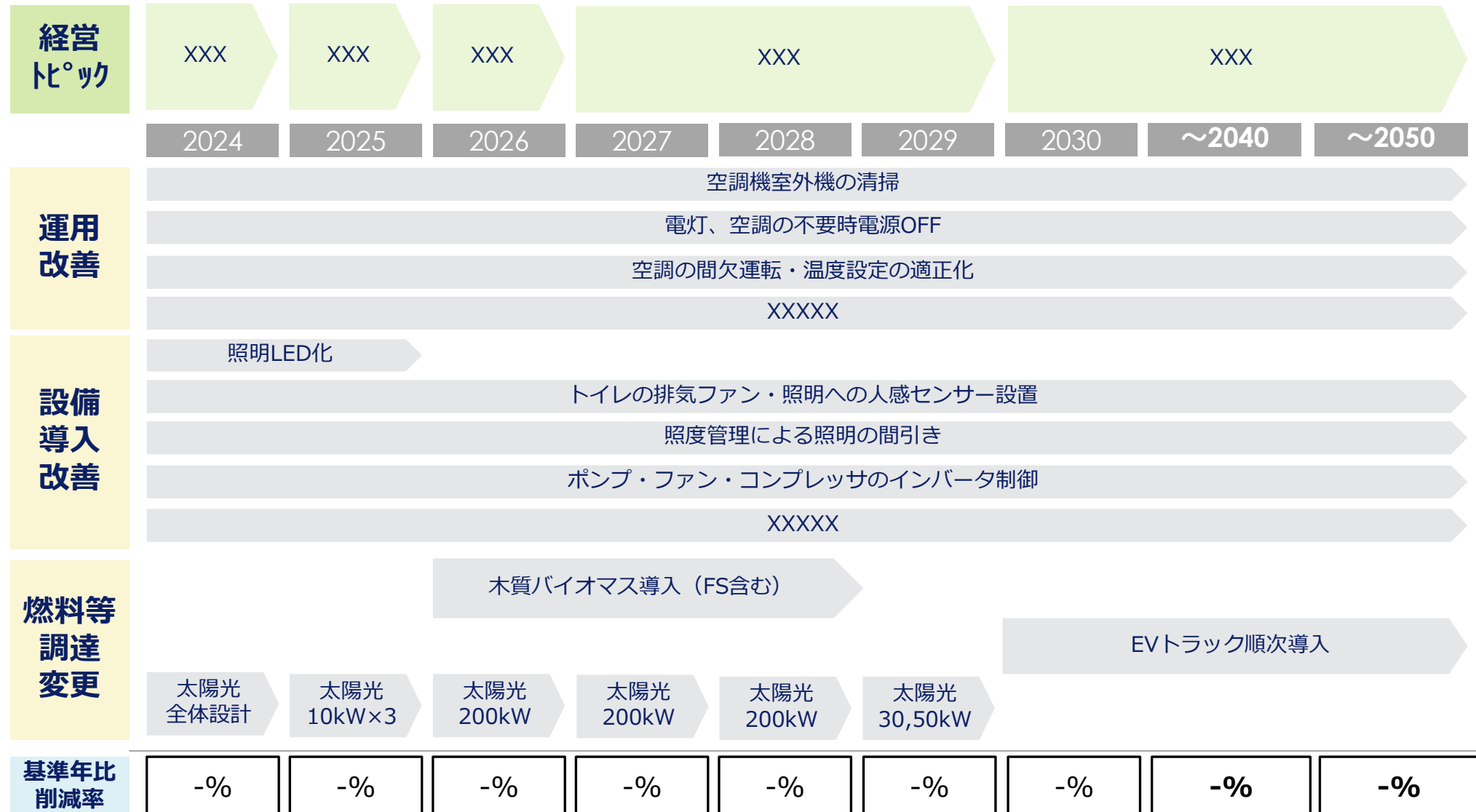
- ▶ **健康体重**を目指す：まずは現実的な範囲でできる省エネに取り組む
- ▶ **実行標準体重**を目指す：少し背伸びして省エネ設備も導入する
- ▶ **導入モデル体重**を目指す：ゼロカーボン（2050年）を意識して戦略的に取り組む

というように、**企業の方針に合わせて目標を設定**できます。



目標設定イメージ

本資料の無断転載・複製・改変等をご遠慮ください。
セミナー時点での情報を掲載しています。最新情報は随時確認ください。





STEP 4 減らす

└運動・食事を見直す＝省エネで排出を削減

体重を減らすには、いきなり断食するのではなく、**毎日の生活習慣を少しずつ改善することが効果的**です。

同じように、脱炭素もまずは「**省エネ**」から始めるが現実的な**第一歩**です。

例えば、照明をLEDに変える、エアコンの設定温度を見直す、使っていない機器の電源を切る——こうした改善は、無理なく継続でき、着実な効果を生みます。

また、ダイエットでは「できるだけ楽しんで痩せたい」と思う人も多く、トレーニングウェアやダイエット器具、プロテインなど、“**形から入る**”という**スタイル**もよくあります。

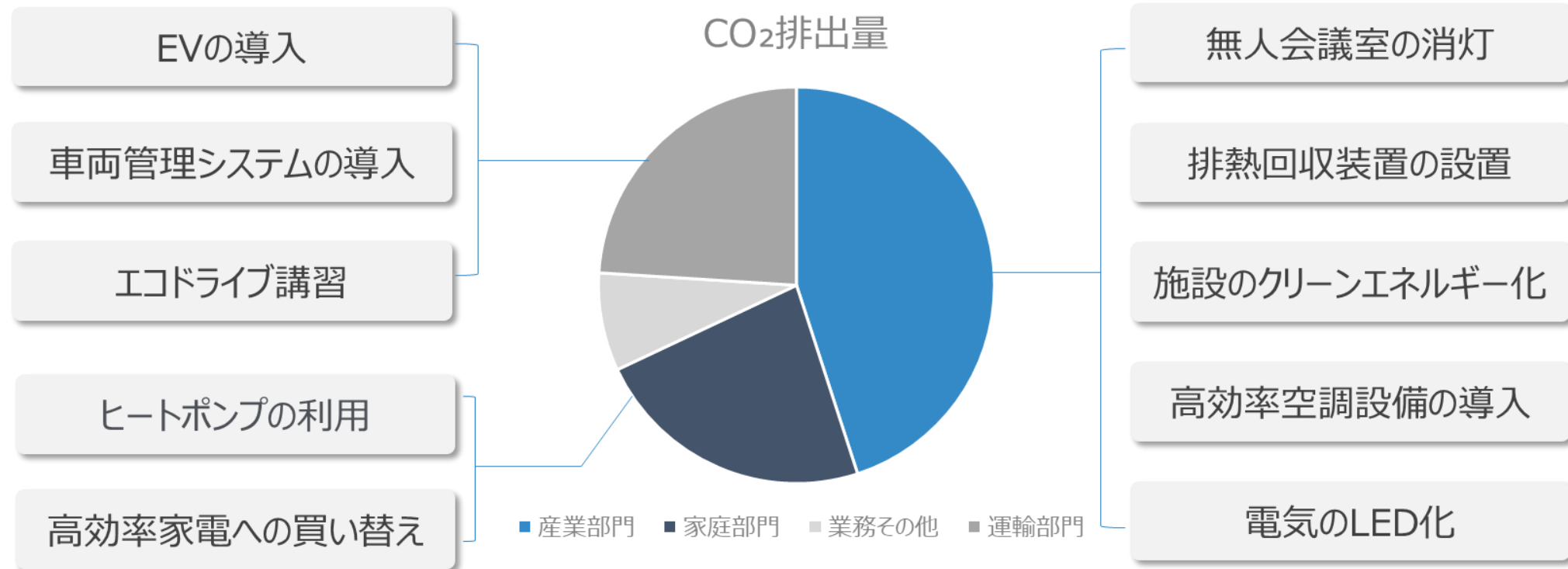
脱炭素でも、省エネ機器の導入（高効率エアコンや冷蔵庫など）や、エネルギーマネジメントシステムの活用といった**設備投資を先に行うスタイル**がそれに近い考え方です。

つまり、「習慣の見直し（省エネ行動）」でコツコツ減らすか、「道具を活用（設備導入）」して効果的に減らすか、自社に合ったアプローチを選ぶことができるのです。

Step 4 減らす

【省エネ化】＝【脱炭素化】

〈省エネの事例〉



省エネ活動は企業ごとにすぐに取り組めることがある！

＜動画 環境省＞

中小規模事業者向けの脱炭素経営 導入動画



現状に対するマインドチェンジ

企業を取り巻く動きを踏まえると、脱炭素社会を生き残るためには、**脱炭素経営への早期着手**が重要となります。

現状

自社のCO₂排出量を把握していない

脱炭素対応＝コスト

近い将来（脱炭素社会）

CO₂排出量の開示義務化

自社のCO₂排出量に応じて費用を払う時代に

- ・ 脱炭素経営に取り組まない企業に未来はない。
- ・ 脱炭素対応はコストではなく「投資」というマインドチェンジが必要。



事業活動のプラスとなるように

地球温暖化対策と聞くと大きな話に聞こえますが、
脱炭素経営に取り組んでいない事業所は既に遅れをとっている状況



業種・業態や事業規模ごとに取り組めることが沢山あります！

**地球温暖化対策が事業活動のプラスとなるように
取り組んでいきましょう。**

参考資料

Step 1 測る

みんなの算定

町民・事業者は完全無料で使える「見える化」ツール

※下記のパソコンイラストをクリックいただきますと、動画で操作方法を確認いただけます。

<動画>

みんなの算定【システム概要】



<動画>

みんなの算定【操作マニュアル】



操作画面イメージ

住民・事業者向けLP（共通）



サインアップ／ログイン画面



みんなの算定

メールアドレス

パスワード [パスワードを忘れた場合はこちら](#)

ログイン

[アカウントを作成する（住民の方はこちら）](#)

[アカウントを作成する（事業者の方はこちら）](#)



サインアップ（アカウント作成）

アカウントを作成する

企業名

担当者名

担当者アカウントのメールアドレス

担当者アカウントのパスワード

パスワード確認用

アカウントを作成する

企業名, 担当者名, メールアドレス, パスワード

操作画面イメージ

本資料の無断転載・複製・改変等をご遠慮ください。
セミナー時点での情報を掲載しています。最新情報は随時確認ください。

アカウント管理機能

年度締め設定機能

ログイン


みんなの算定

メールアドレス

パスワード パスワードを忘れた場合はこちら

ログイン

アカウントを作成する（住民の方はこちら）

アカウントを作成する（事業者の方はこちら）

アカウント管理

+ アカウントを追加する

ステータス	権限	氏名	メールアドレス	
有効	管理者	岸岡	test02@spool.co.jp	編集

アカウントを追加する

氏名

山田太郎

メールアドレス

xxx@spool.co.jp

パスワード

権限

☐ 管理者

☐ 一般ユーザー

保存する

年度締め設定

年度	状態	
2023年度	入力可能	ロックする
2022年度	入力可能	ロックする
2021年度	入力可能	ロックする
2020年度	入力可能	ロックする
2019年度	入力可能	ロックする
2018年度	入力可能	ロックする
2017年度	入力可能	ロックする
2016年度	入力可能	ロックする
2015年度	入力可能	ロックする
2014年度	入力可能	ロックする
2013年度	入力可能	ロックする

操作画面イメージ

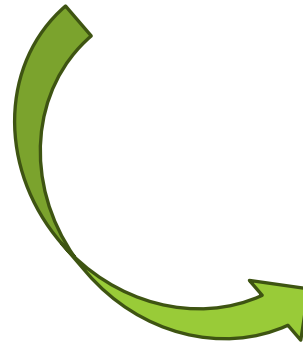
事業所（拠点）使用量データ入力機能

事業所のデータ一覧

表示する年度を選択

2024年度 ▼

事業所名称	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
第一工場	未	未	未	未	未	未	未	-	-	-	-	-



事業所のデータ入力

対象年月：2024年04月

入力項目	使用量
電力	未入力 kWh
電力 使用プラン	プラン選択
都市ガス	未入力 m ³
都市ガス 使用プラン	プラン選択
LPガス	未入力 m ³
灯油	未入力 L
重油A	未入力 L
重油BC	未入力 L
軽油	未入力 L
発電量	未入力 kWh
売電量	未入力 kWh

キャンセル

追加する

操作画面イメージ

本資料の無断転載・複製・改変等のご遠慮ください。
セミナー時点での情報を掲載しています。最新情報は随時確認ください。

社用車使用量データ入力機能

車両のデータ一覧

表示する年度を選択

2024年度

表示する事業所を選択

すべて

車両番号(車両名)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	入力	入力	入力	入力	入力	入力	入力	入力	入力	入力	入力	入力
3587 (フィット)	未	未	未	未	未	未	未	-	-	-	-	-

車両のデータ入力

対象年月：2024年4月

車両番号（車両名）

3587 (フィット)

ガソリン

未入力

L

軽油

未入力

L

走行距離

未入力

km

キャンセル

追加する

排出量削減のためのアイデアシート

考え方

- 工程に無駄はないか？
- 古い設備はないか？
- 排出量を削減するための障壁はないか？
- 価値創出に繋がるか？

etc.



現状

必要な資源（人材も含む）

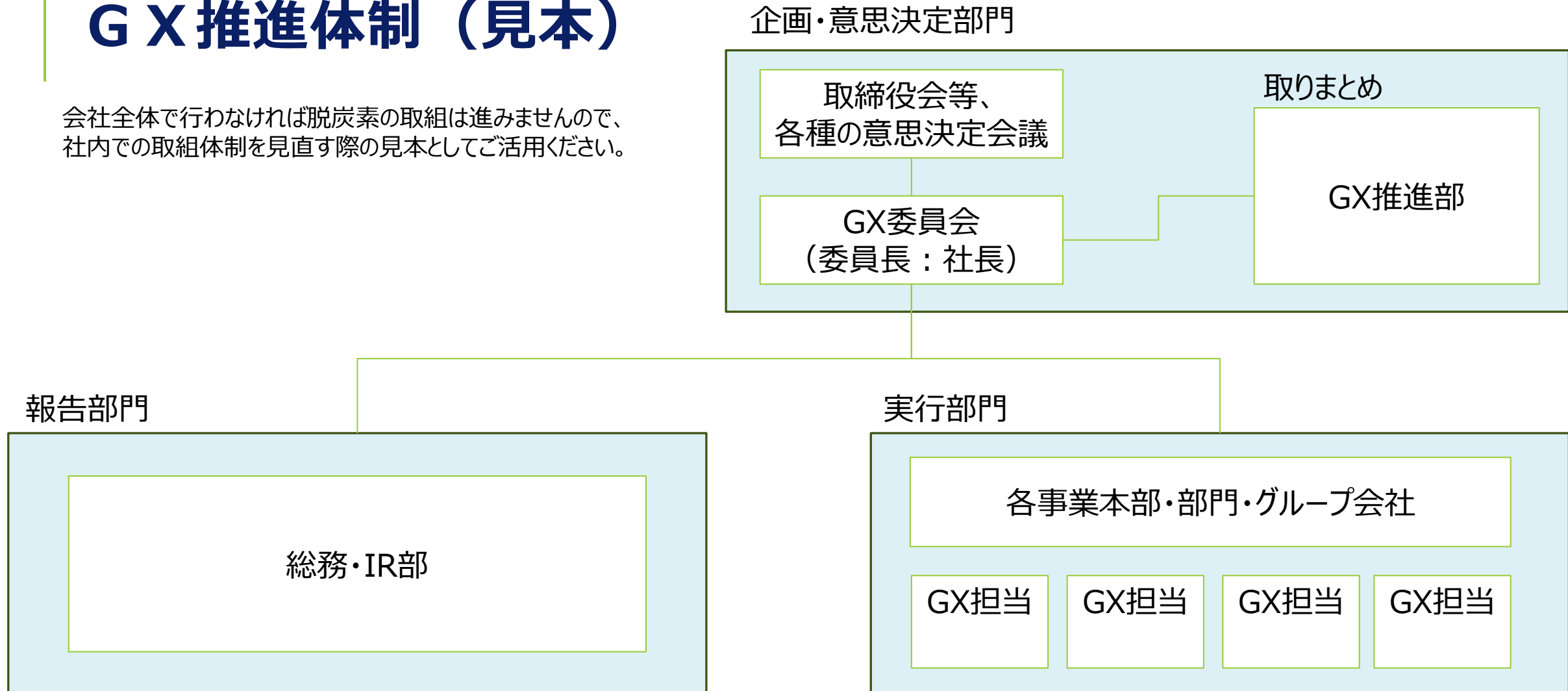
弱み（リスク）

解決策

課題

G X 推進体制（見本）

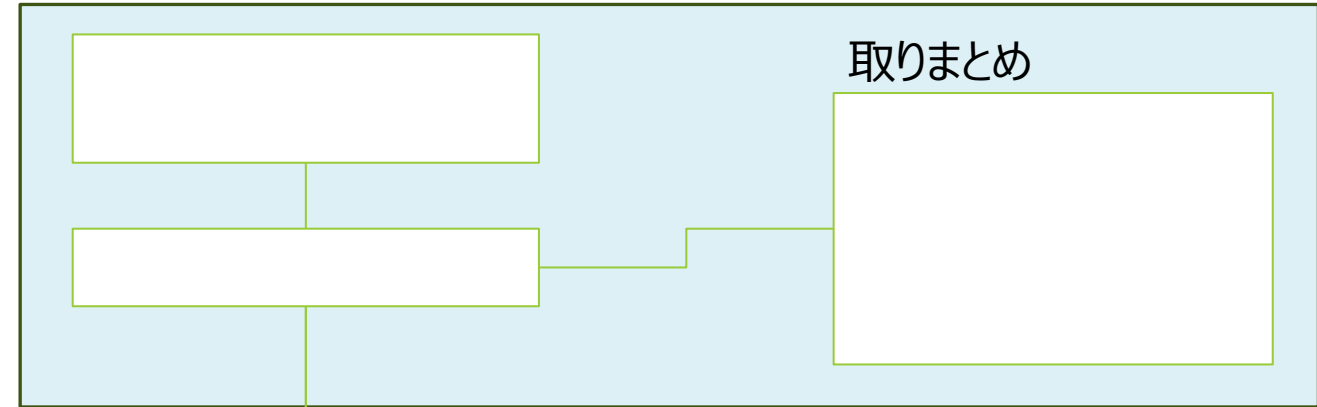
会社全体で行わなければ脱炭素の取組は進みませんので、社内での取組体制を見直す際の見本としてご活用ください。



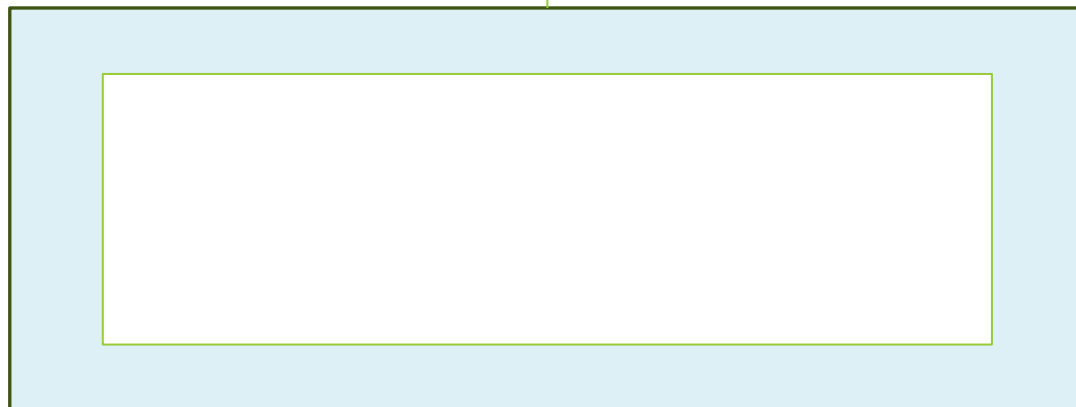
G X 推進体制

実際に自社での取組体制を埋めてみましょう。
足りない部署などがないか、どんな会議体が必要になるかなど、具体的なものを想定し、一部の担当だけの体制にならないようにしましょう。

企画・意思決定部門



報告部門



実行部門

